



平成26年6月6日

各位

上場会社名 株式会社稲葉製作所
 代表者 代表取締役社長 稲葉 明
 (コード番号 3421)
 問合せ先責任者 上席執行役員経理部長 江口 勤
 (TEL 03-3759-5181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年9月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年7月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,900	1,600	1,800	1,450	83.15
今回修正予想(B)	30,570	2,400	2,640	2,030	116.42
増減額(B-A)	670	800	840	580	
増減率(%)	2.2	50.0	46.7	40.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年7月期)	29,221	1,906	2,087	1,276	75.18

平成26年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,700	1,770	1,440	82.58
今回修正予想(B)	26,430	2,600	2,000	114.70
増減額(B-A)	730	830	560	
増減率(%)	2.8	46.9	38.9	
(ご参考)前期実績 (平成25年7月期)	25,132	2,088	1,301	76.66

(注) 前回発表予想の1株当たり当期純利益につきまして、当期における自己株式処分に伴う期中平均株式数の変動を反映した修正を行っております。

修正の理由

(1) 連結

売上高面におきましては、鋼製物置セグメントではガレージシリーズ、イナバ倉庫等大型製品が堅調に推移したことに加え、消費税率引上げ前の駆け込み需要もあり好調に推移しましたが、オフィス家具セグメントでは低迷から抜け出せず、全体の売上高は前回発表を若干上回る水準となる見通しであります。利益面におきましては、採算性の高い大型製品の売上高増加やコスト削減効果を見込み、当初予想を上方修正するものであります。

(2) 個別

個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由で修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上